

平成 24 年 3 月 15 日

## 祖父母・親・孫世代の世代間交流に着目した「育 G プロジェクト」発足 ～活動第一弾として孫育てを支援する『育 G 新聞』連載スタート～

株式会社電通（本社：東京 社長：石井直）は、祖父母世代と親世代・孫世代の交流に着目し、新たな市場機会を創出する社内横断プロジェクト「育 G<sup>※</sup>（イクジー）プロジェクト」を発足しました。その活動第一弾として 3 月 16 日より、祖父母世代の孫育てを支援するオリジナルコンテンツ『育 G 新聞』を各メディアを通じて発信いたします。

昨今の経済環境下、若い世代は核家族化や共働きの家庭が増えるなど、子育ての困難さに直面しています。一方、本年は団塊世代（昭和 22～24 年生まれ）のファーストランナー（昭和 22 年生まれ）が 65 歳となり、彼らと彼らに続く世代の定年後の生活スタイルと時間の過ごし方に注目が集まっています。彼らの今後の社会参画（ボランティア、地域社会貢献、コミュニティ参画）には大きな期待が寄せられており、とりわけ高度成長期で仕事に追われ子育てに参加することが難しかった祖父世代が孫や地域の子どもと接することで子育ての素晴らしさに気付き、育児に携わることなども注目されています。

電通ではこのような流れの中、祖父母世代と親世代・孫世代の世代交流に着目し、世代間交流を促進することにより新たな市場機会を開発する社内横断プロジェクト「育 G プロジェクト」を発足しました。その活動第一弾として、「日経ビジネス」、株式会社ディー・エヌ・エー（以下、DeNA）および NPO 法人ファザーリング・ジャパン、NPO 法人孫育て・ニッポンの協力を得て、3 月 16 日に祖父世代の孫育てを支援するオリジナルコンテンツ『育 G 新聞』の連載をスタートいたします。具体的には、ビジネスの第一線で活躍される方々に支持される「日経ビジネス」の誌面内、DeNA の運営する中高年向け SNS サイト「趣味人倶楽部」内に月一回、『育 G 新聞』を掲載いたします。

『育 G 新聞』は誌面をベースに、おじいちゃんの孫育て、祖父母世代と孫世代の交流に興味を持つ企業とのタイアップ企画も取り組んでまいります。また本プロジェクトでは 3 世代間の交流を切り口とした新たなビジネススキーム開発、メソッド開発も今後進めてまいります。

※ 「育 G」の G は Grand Father の G。孫育て、あるいは地域の子どもの育成に力を注ぐことで、豊かな社会経験を社会貢献につなげていく、そんな新しいおじいちゃんが増えていきます。

【『育G新聞』の概要】

誌面名：『育G新聞』

発行回数：月1回連載（予定）

掲載協力媒体：『日経ビジネス』

発行社名：株式会社 日経 BP

創刊日：1969年9月1日

部数：239,357部(ABC部数10.7-12)

編集長：山川龍雄

発売日：毎週月曜日

媒体概要：企業のトップとミドルマネジメントを対象に、経営・管理上の意思決定と判断に役立つ内外の経済・経営情報を提供しているビジネス誌。

『趣味人倶楽部』

運営会社：株式会社ディー・エヌ・エー

URL：<http://smcb.jp/>

会員数：27万6000人

サイト概要：会員の約7割が50代以上で構成されている、日本最大規模のPVを誇る団塊/シニア向け趣味交流SNSサイト。趣味を通じた他の人々との交流や、仲のよい友人とインターネットで連絡を取り合う場合など、様々な用途で利用されている。

【プロジェクトロゴ】

育G  
プロジェクト

【題字】



※NPO 法人ファザーリング・ジャパンとは：

父親の意識改革を促すセミナーやワークショップの実施、父親学校「ファザーリング・スクール」の開講、「子育てパパカ検定」の実施、子育てや父子コミュニケーションをテーマにした音楽配信事業、旅行事業、物販事業、ポータルサイトの運営等の実施に加え、昨年からは「イクジイプロジェクト」を立ち上げ“笑っているおじいちゃんが社会を救う。”として祖父の意識改革を促す各種事業を展開中。

代表者：代表理事 安藤哲也

※NPO 法人孫育て・ニッポンとは：

「家族の祖父母を含めた関係がより良くなり、地域・社会のおじいちゃん、おばあちゃんが増え、子どもたちが健やかに育つ社会作りを目指すこと」を目的とし、孫育て支援者研修事業、孫育て・子育て等に関する講演会・セミナー開催事業、調査研究事業、普及啓発事業等を実施中。

代表者：理事長 棒田明子

<本リリースに関するお問い合わせ先>

広報部：03-6216-8041

<内容に関するお問い合わせ先>

プロジェクト・プロデュース局プロジェクト開発部

次世代・シニアプロジェクト：平井、齊藤（03-6216-8058）

第3クリエイティブ局：安藤（03-6216-8237）

雑誌局 雑誌ブランドビジネス部：山本（03-6216-8342）